

上越市立図書館 読書週間推薦

こどもの本ブックリスト 2024

～小学生向け～



10月27日～11月9日は
読書週間です

【イラストマークについて】

イラストマークは、本の背表紙にはってあります。本だなどで本を選ぶときの参考にしてください。

- 小学校低学年  ■小学校中学年  ■小学校高学年 
■おはなし・物語ではない本 

小学校低学年

げたばこかいぎ

村上しいこ/作 高畠那生/絵 PHP 研究所 2022

はるとが寝ていると、はるとのスニーカーが^お起こしにきて、くつたちが^{あつ}集まる「げたばこかいぎ」によばれました。げたばこかいぎでは「パパのかわぐつがくさい」と^{くじょう}苦情があり、はるとはくつたちからパパにつたえてとたのまれてしまいます。

でもパパに「パパのかわぐつがくさくてみんなこまってる」なんていえません。どうしよう…。

けんかのたね

ラッセル・ホーバン/作 小宮由/訳 大野八生/絵
岩波書店 2022

ある^ひ日、くたくたになったお父さんが家にかえると、4人の子^{にん}どもたちが、なんとイヌとネコまでまきこんで大げんか。子^こどもたちにケンカのわけをきいても、全^{ぜん}員が「じぶんのせいじゃない!」といいます。

お^お大さわぎのきっかけは？そしてみんなは、ぶじになかなおりできるのでしょうか？

ねこねこがっこう

荻田澄子/作 つちだのぶこ/絵 文溪堂 2023

としくんなんかだいきらい！

ある^ひ日、ともだちのとしくんとけんかをしてしまったゆうくん。飼^かいねこのにやおをおいかけているうちに、たどりついたのはなんと、ねこのがっこう。

しゃべるねこたちがあつまる「ねこねこがっこう」にまよいこんでしまったゆうくんは、ねこたちといっしょに^{じゅぎょう}授業をうけることに。さて、^{つぎ}次の^{じかん}時間は…けんかしたともだちとなかなおりする^{ほうほう}方法！？

りんごだんだん

小川忠博/写真と文 あすなろ書房 2020

おさらの上^{うへ}にりんごが1つ。食^たべずにそのままにしておいたらどうなる？りんごを300日ほど^{にち}観察して色や^{いろ}形^{かたち}が^か変わっていく^{ようす}様子を写真^{しゃしん}で^{きろく}記録してみました。

最初^{さいしょ}は赤^{あか}くてつるつるしていたりんごは、だんだんしわしわになって、ぱんぱんに！？そして346日目^{にちめ}にはとうとう…。



だいじょうぶくん

魚住直子/作 朝倉世界一/絵 ポプラ社 2022

新学期になってからクラスに友達がいないぼくは、ある日しゃべるカピバラのぬいぐるみ「だいじょうぶくん」と出会う。だいじょうぶくんはどうやら、持ち主の「まりちゃん」の家を探しているようで…。

「だいじょうぶ」がくちぐせのだいじょうぶくんが、いっぽふだゆうきをくれます。

すごいゴミのはなし



滝沢秀一/文 スケラッコ/イラスト 萩原まお/イラスト 学研プラス 2022

ゴミは社会をうつす鏡です。わたしたちの生活や考え方が、すべてゴミに反映されています。いろいろなゴミのはなしを、現役ゴミ清掃員の滝沢さんが楽しくわかりやすく紹介します。

身近なゴミから、地球の未来が見えてくる！

どんなイチゴも、みんなかわいい

葦原かも/作 中田いくみ/絵 童心社 2023

目立つことが苦手なアヤ。ある日、ジュズダマという野草の実が耳にはまって取れなくなったのをきっかけに、なぜか勇気が出てパワーがあふれたり、自分に自信が持てたり。3つのユーモラスな出来事を通して、アヤの心の成長を描きます。



ぼくのなかみはなにでできてるのか

かさいまり/作 おとないちあき/絵 金の星社 2023

友達にからかわれても弱気になって言いたいことがいえない神田はると。ある日、同じようにからかわれていたクラスメイトのやすくんが転校することに。

はるとは思いきって、やすくんに「友達宣言したい」と声をかけてみると…。

けものみちのにわ

水風紅美子/作 げみ/絵 BL 出版 2023

五年生の風花は山のふもとの家で暮らすおじいちゃんが好き。家族とはなれ、たったひとりで暮らすおじいちゃんの家の隣には「けものみち」という不思議な道があって誰も近寄りたがらない。風花はその道がこわいけれど、なんだかとても気になって…。不思議と出会う風花の1年の物語。

しごとへの道

1 パン職人 新幹線運転士 研究者



鈴木のりたけ/作 ブロンズ新社 2023

その道ではたらく人が、自分のしごとを見つけるまでをマンガで描いた作品。みんな迷ったり、悩んだり、失敗したり…。でも、一步一步、前に進み続けた。だからこそ、今がある。働く勇気がわいてくる本。

ぼくたちのいばしょ 亀島小多国籍探偵クラブ

蒔田浩平/作 酒井以/絵 文研出版 2023

クラスにネパールからの転入生、サラダがやってきた。日本語がほとんどわからず、孤立するサラダだったが、先生の勧めでクラスの新聞委員に加わることに。そんななか、サラダのうわばきがなくなる事件が発生！



ほしあ 星明かり

熊谷千世子/作 宮尾和孝/絵 文研出版 2020

男の子にまちがわれる「昂」という名前。自分を生んだ後に亡くなった母が名付け親と知った昂は、名前の由来を知るため、小学生最後の冬休みを母の故郷で過ごすことに。

日本で一番星空が美しいと言われる村で過ごすうち、「昂」という言葉が持つ思いがけない意味、生んでくれた母と育ててくれた母の思いを知って…。